平成２９年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人　美深福祉会

平成２９年度

事　業　報　告　書

本　　部

事業報告書　　本部

改正社会福祉法に伴う定款の変更を受け、役員、評議員について、当法人は 平成２９年１０月９日が任期満了となることから、平成２９年４月１日からの評議員については、この度設置された評議員選任・解任委員会において選任され、役員については、最終の評議員会で平成３１年度定時評議員会終結の時までの任期とする選任案が承認された。定数については、理事６名、監事２名そして 評議員７名で変更はない。

また、理事会、評議員会の権限や責任が法律で規定されたことに伴い、役員報酬については、現行の報酬及び費用弁償規程で対応することとした。

各事業所について、多機能事業所のぞみについては、本体事業の充実を図るため、ショップ（かぜる）事業及び町から受託の資源再生化事業の管理部門の撤退。

共同生活援助事業所共生の里では、入居者を火災・災害から守ることを第一に捉え、グループホームの火災通報装置の整備及び建物等の保全計画に則り、しらかば寮給湯・暖房設備改修工事において IH 化を図った。

障害者支援施設はれるでは、毎日が明るく安心した生活が送れるよう虐待・事故防止に向け、職員の資質向上を図ることを目的とした所内研修会を実施。

また、特養老人ホームについては、上川振興局の指導に基づき、介護の基本を再検証しながら利用者一人ひとりに対し、適切なサービス提供に繋げていく内容の研修を実施。

法人全体を通した重点事項の取り組みについては以下のとおり。

（１） 経営組織のガバナンスの強化
（２） 事業経営の透明性の向上
（３） 地域における公益的な取組を実施するための検討
（４） 人材確保対策の推進
（５） 職員資質の向上
（６） 工賃向上計画に基づく現行事業の検証

理事会開催状況報告

会 議 名	開 催 年 月 日	議　　題
第 1 回理事会	平成 29 年 4 月 19 日	・特別養護老人ホーム事業使用車両更新
第 2 回理事会	平成 29 年 6 月 13 日	・平成 28 年度 美深福祉会事業報告 ・平成 28 年度 美深福祉会収支決算報告 ・平成 28 年度 美深福祉会決算監査報告 ・美深福祉会経理規程の一部改正 ・美深福祉会第三者委員委嘱
第 3 回理事会	平成 29 年 6 月 29 日	・美深福祉会理事長の互選 ・美深福祉会業務執行理事の委嘱
第４回理事会	平成 29 年 9 月 26 日	・平成 29 年度 第２回監事監査報告 ・美深福祉会 定款の全部改正 ・美深福祉会 基本財産の一部売却 ・多機能のぞみショップ事業の運営 ・美深福祉会 育児・介護休業に関する規則改正
第５回理事会	平成 30 年 3 月 22 日	・理事長、業務執行理事職務執行状況報告 ・平成 29 年度 第 3 回、第 4 回監事監査報告 ・平成 29 年度 各会計収支補正予算（第１次） ・平成 30 年度 美深福祉会事業計画 ・平成 30 年度 美深福祉会収支予算 ・給与改定の一部改正

評議員会開催状況報告

会 議 名	開 催 年 月 日	議　　題
定時評議員会	平成 29 年 6 月 29 日	・平成 28 年度 美深福祉会事業報告 ・平成 28 年度 美深福祉会収支決算報告 ・平成 28 年度 美深福祉会決算監査報告 ・美深福祉会理事及び監事の選任 ・美深福祉会第三者委員の委嘱 ・美深福祉会経理規程の一部改正
第2回評議員会	平成 29 年 9 月 26 日	・平成 29 年度 第 2 回監事監査報告 ・寄附採納報告 ・美深福祉会定款の全部改正 ・美深福祉会 基本財産の一部売却 ・多機能のぞみショップ事業の運営 ・美深福祉会 育児・介護休業に関する規則改正
第3回評議員会	平成 30 年 3 月 30 日	・理事長、業務執行理事職務執行状況報告 ・平成 29 年度 第 3 回、第 4 回監事監査報告 ・平成 29 年度 各会計収支補正予算（第１次） ・平成 30 年度 美深福祉会事業計画 ・平成 30 年度 美深福祉会収支予算 ・給与改定の一部改正

監査実施状況報告

会 議 名	開 催 年 月 日	監　　査　　内　　容
第 1 回監査	平成 29 年 5 月 24 日	・平成 28 年度 美深福祉会各会計の収支決算 ・利用者の預り金（1 月～3 月）の状況 ・法人本部及び各事業所の運営状況
第 2 回監査	平成 29 年 7 月 31 日	・平成 29 年度 第 1 四半期各会計経理状況 ・利用者預り金（4 月～6 月）の状況 ・法人本部及び各事業所の運営状況
第 3 回監査	平成 29 年 10 月 26 日	・平成 29 年度 第 2 四半期各会計経理状況 ・利用者預り金（7 月～9 月）の状況 ・法人本部及び各事業所の運営状況
第 4 回監査	平成 30 年 2 月 22 日	・平成 29 年度 第 3 四半期各会計経理状況 ・利用者預り金（10 月～12 月）の状況 ・法人本部及び各事業所の運営状況

法人役員研修状況報告

研 修 名（研修地）	研 修 年 月 日	参 加 者
平成 29 年度社会福祉法人経営者セミナー （札幌市）	平成 29 年 7 月 4 日	園部理事長、十亀業務執行理事
平成 29 年度苦情解決システム研修（札幌市）	平成 29 年 11 月 8 日	真光・上野 各第三者委員 栗原施設長
平成 29 年度社会福祉法人役員専門研修 （札幌市）	平成 29 年 12 月 6 日	園部理事長、十亀業務執行理事

◎　苦情解決関係

○　第三者委員による利用者聞取り調査

平成 29 年 12 月 1 日

出席者　　真光三枝子、上野誠二 各第三者委員

利用者　　はれる利用者　　２名

平成２９年度

事　業　報　告　書

の　　ぞ　　み

行　事　総　括

行事名	実施日	実施内容・結果
花見（望の森）	5月13日	町観光協会主催の桜祭に参加。天候にも恵まれ、ジンギスカンを食べ楽しいひと時を過ごすことができました。
友好ソフトボール（町営球場）	6月3日	雨天の為中止となりました。
第39回北・北海道知的障がい福祉協会ソフトボール大会（鷹栖町）	6月17日	緊張のあまり本来の力を発揮できない選手もいましたが、他の選手は活躍し、本来の力は出せたと思います。また全員怪我なく試合を終える事ができました。
第20回北・北海道知的障がい福祉協会北ブロックパークゴルフ大会（名寄市）	8月1日	はれる含め16名（4チーム）参加。団体では好成績は残すことはできませんでしたが、個人では男子が３位と好結果になりました。
第27回北・北海道知的障害福祉協会スポーツ交流会（旭川市）	9月13日	旭川市の大雪アリーナで実施。利用者の皆さんは各競技に参加され楽しく交流をしました。
第28回のぞみ祭	9月16日	屋外での開催となり天候も最後まで持ち。地域の方々や家族等々、多くの方が来場され盛況でした。最後のビンゴ大会は大いに盛り上がりました。
見学旅行（ふれあいの家まどか）	10月7日～8日	予定通りの行程で終了しています。体験型という初めての形でしたが、とても喜んでいました。マイはし作り・蕎麦体験・ピザ作り体験では１人ひとりが率先して参加していました。
第39回北･北海道障がい福祉協会卓球大会（富良野市）	10月24日	全員怪我をする事なく試合を終え、満足された様子でした。
見学旅行（初山別温泉）	11月11日～12日	行きは悪天候が心配されましたが何とか天候も持ち到着することができました。宴会では料理も美味しく飲み物も十分あり、皆さんカラオケを楽しみ満足されていた様子でした。
大掃除（事業所内）	12月26日	清掃を通して、利用者間で協力して事業所内を綺麗に使用する気持ちを養い、常に清掃美化に努めるに実施しました。
新　年　会	1月12日	２年ぶりの開催でしたが、全行程スムーズに進行し、参加された方々も満足されて終了する事ができました。
のぞみ慰労会	3月31日	一年間の作業慰労を昼食兼ねて行い、作業総括及び新年度の作業の体制を発表している。みなさん、バイキング料理を堪能され、とても満足されていました。

平成29年度　就労継続支援Ｂ型事業所　のぞみ事業報告

各事業の連携と効率化も図りながら、全体として総合的に事業を進めてきました、また利用者工賃達成目標（前年工賃達成額を超える）に対応するために事業に対するコストを見直し、利用者さんへの工賃向上に繋げて来ました。

利用者支援については、①能力に応じた作業に携わりながら精神的安定を図ると共に生産活動の支援を行いました。②働くことを通じて、社会参加や生産活動に携わることの重要性を育成してきました。③作業を通じて健康的な身体と精神を養うように支援をしてきました。

また、職場実習支援については、定期的に実習先状況の把握や私生活の状況等について担当者間の情報交換を行い、実習でのことについて相談できる体制作りをしてきました。

次年度の方向性

・支援の内容や事業の内容について、各事業の連携と効率化を図りながら進めてきましたが職員の人員配置や事業工程管理などが適切に行えなかったことで、事業全体の達成度も計画どおりに進まない部分もありました。次年度は事業所全体として、人員配置を適切に行うと共に事業工程管理も十分に把握ができるように進めます。

・一人一人の支援の在り方を再検討し、その人に適切な支援をする環境作りを進めて行きます。（支援スキル・事業所環境等）

・コストの削減や生産性の向上に努め、利用者さんへの工賃還元が少しでも多くなるように、計画性的に各事業を進めて行きます。

【農産加工事業】

（農産）

□農産事業実績

今年度、トマト生産はハウス２０棟にて１０，０００本を栽培し、１３．８ｔの生産となりました。又、特別養護老人ホームの除雪・園庭管理、はれる、リサイクルセンターの除雪、法人内グループホームの除雪作業と昨年度と同様に委託事業を行いました。

生産量

○トマト加工分　１３．８ｔ
○黒豆　　１００㎏

収　入

○農産物販売収入
・トマト販売等（トマト、花苗、野菜苗等）　９３３，０００円
・その他農産収入（黒豆等）

○委託事業収入

内訳
・特別養護老人ホーム委託事業
・はれる委託事業
・のぞみ委託事業
・ケアホーム・グループホーム除雪委託事業

合計　１，２１６,０００円

□農産事業報告

◎農産部門

・年間事業内容については、４月～９月はトマトの育苗、定植、管理、収穫を行い、１０月～３月は育苗ハウス回り、その周辺の除雪作業と、黒豆の選別、袋詰めを行っています。

・利用者さん一人一人が意欲的に作業に取り組めるように、個々の作業力に合わせた作業を心がけて支援をしました。

・トマトの生産については、目標収穫量１８ｔに対して、収穫量１３．８ｔとなり達成率７６％となっています。

・昨年度同様、今年度についても、病気の対策として、防除用微生物剤等の散布を行い、耐病については効果がみられた。

・トマト収穫については、猛暑の中のハウス作業ということもあり、随時水分補給を促しながらの作業を行っています。収穫とトマト加工の繁忙期が重なり、限られた人数の中、みなさん一生懸命に作業を行っていました。

・黒豆については、旧ワークきたかやの畑を使用。面積も増やし１００㎏の収穫となり、冬場の貴重な選別作業として実施する事ができた。

◎委託事業

・委託事業として、同法人の特別養護老人ホームの除雪・園庭管理、はれる事業所、リサイクルセンター、共生の里事業所グループホームの除雪を実施する。今年度は積雪量が例年より多く、計画通り除雪を実施することがなかなかできない状態でしたが支障になることはありませんでした。

□農産次年度への方向性

◎土地基盤整備後のハウス内圃場の土壌環境の充実（施肥配分）、又病害対策を充分とれるように機器の導入を図り進めて行きます。

◎点滴式の潅水システムで計画的に潅水を行い、さらなる品質の向上を図ります。また夏場のハウス内温度を下げる方策を講じて、栽培環境を安定させていきます。

（加 工）

□事業実績

◎トマトジュース製造数量（原料／１３．８ｔ）

項　　目	平成２７年度	平成２８年度	**平成２９年度**
太陽の水１６０ml	４２，２４５本	３０，２７３本	**３０，４２８本**
太陽の水５００ml	１１，０３０本	１０，０４２本	**７，６４２本**
トマト原料	１８．４ｔ	１４．９ｔ	**１３．８ｔ**
総生産量(リットル換算)	１２，２７４ﾘｯﾄﾙ	９，８６５ﾘｯﾄﾙ	**８，６８９ﾘｯﾄﾙ**

◎委託ジュース製造数量（契約０件）

項　　目	平成２７年度	平成２８年度	**平成２９年度**
士別市　佐藤農園様　500ml	３２４本	―	**４０６本**
下川町　三　賀　様　180ml	―	―	―
下川町　三　賀　様　500ml	―	―	―
総生産量(リットル喚算)	１６２ﾘｯﾄﾙ	―	**２０３ﾘｯﾄﾙ**

□事業報告

・７月１９日より製造を開始し、製造最終日は１０月１１日、稼働日は計２７日。トマト原料が予定の１８ｔより大幅に下回り、稼働日も計３０日を切っています。安全な品質の製品製造に努め、作業工程の複数回確認の徹底、最終工程の殺菌中温度をデータ記録、管理しています。

・利用者さんの支援においては、3年目となる安全講習会を実施し利用者さん１人１人がより安全について心がけてもらえるよう、取り組みを継続しています。
また時間に追われながらの作業ですが、利用者さんの休憩時間を明確にし、休憩時間を確保する事で、本年度も大きなケガや事故がなく終了しています。

・製造本数は上記の通り、１６０ｍｌ製品は予定製造本数４０，０００本に対し７５％。５００ｍｌ製品は予定製造本数１０，０００本に対し７６％と減産となっています。両製品ともに減産の為、本年度も１２月より予約販売注文を受け１６０ｍｌ、５００ｍｌともに製品は１２月末で一般販売を終了、予約販売のみとなっています。なお、本年度の委託ジュース製造は１件、来年度も契約内容を慎重に協議し進める。

□次年度の方向性

・作業時間や稼働曜日などは、安全に作業する事を基本とし流動的に設定し進める。
・原料の増産があった場合は、需要の多い１６０ｍｌ製品を増産する。
・町内道の駅あうる、札幌市内どさんこプラザでの試飲販売会を予定。

【収集処理事業】

□事業実績

事　業　所　名	年間受け入れ数量	金　　額
美　深　温　泉	５,８２１．４５Kg	
（株）ア　ウ　ル	６,７８３．２０Kg	
レストハウス　あうる	１,０３８．３５Kg	
美深町特別養護老人ホーム	８,２１９．２０Kg	
美　深　厚　生　病　院	５,０１８．００Kg	
む　つ　み　苑	６,７１２．１５Kg	
美　深　ス　ー　パ　ー	１１,６８９．７５Kg	１，７０８，９７１円
美深高等養護学校	５,６４８．００Kg	
の　ぞ　み	１,６８０．８０Kg	
は　れ　る	５,８２２．０５Kg	
育　成　園	２,０５１．００Kg	
美深町学校給食センター	５,１７４．００Kg	
合計数量	６５,６５７．９５Kg	
エコ丸くん収入		１８４,１１２円
委託事業		５３８,０００円
総収入金額		**2,４３１,０８３円**

□事業報告

◎町内９事業所及び当法人事業所の生ごみを回収。生ゴミ処理機２台により高温乾燥処理し堆肥の製造を進めている。

また、エコ丸君(特殊肥料)をゴールデンウィーク明けより、朝刊チラシに入れＰＲし、販売の拡大を図っている。

他に委託業務として特養、のぞみ、はれる、日清医療食品の炭化ゴミ、一般ごみ、資源のみの運搬業務を担っている。

□次年度への方向性

◎機械・施設の老朽化について等の問題も深刻化していることもふまえ、今後の事業展開については、肥料製造を必要最小限にとどめ、回収した食物残渣物及び衛生ゴミ等の炭化ゴミは名寄市の炭化センターに搬入することとする。一般ごみなどの埋め立てゴミについても、当町の一般廃棄物処理場の閉鎖に伴い名寄市に搬入することとする。また、資源ごみは当町のリサイクルセンターに搬入する。

【クリーニング事業】

□事業実績

洗濯業務収入	２，５５５，０００円
清掃業務収入	２，２３６，０００円
クリーニング業務収入 （グループホーム、はれる、特養）	３，２７０，０００円
委託業務収入	５１，０００円
総　収　入	**８，１１２，０００円**

□事業報告

◎特養洗濯作業

・特養洗濯室において作業にあたり、特養利用者の衣類、布おむつ、タオル類の洗濯、乾燥等を３６５日行う。

◎特養清掃作業

・特養全体の清掃を３６５日行う。(利用者１名　週２日従事)

◎ワタキュー作業

・ワタキューから委託された寝具等の折り畳み作業を、のぞみ事業所内作業室にて業務を行う。

◎クリーニング作業

・特養、G・Cホーム、はれるから委託を受け、寝具類の洗濯、乾燥、折り畳み等をのぞみ事業所内作業室にて作業を行う。月曜日から金曜日、また土、日以外の祝祭日についても業務を実施する。

□次年度への方向性

・クリーニング作業の祭日については基本的に休みとするが、祭日の曜日に応じ稼働することとします。

・ワタキューの委託作業については、１週間に１日～２日のペースで委託業務として実施していく。

【リサイクル事業】

□事業実積

・資源化選別業務委託を行う。

・年々搬入量が減少して来ている反面、混入物や未洗浄の物が微量ではあるが増えている傾向にあります。

・作業日数　２５５日

・作業時間　１日平均　４時間２０分

・１日当たりの作業人員　約１０．１人

□事業報告

・紙の選別作業に置いて、ペースに波がある。特に当日の作業編成（メンバー）によって差が大きく開いてしまう事もあり、編成メンバーによっては都度声掛けを要した。

・安全面に対してベルトコンベアー、プレス機、車両などと気を緩めれば、大きな事故へと発展する可能性もあり危険箇所に対しての意識付けと支援を行ってきました。

・作業手順の徹底と構内の把握、安全に対しての意識付けを徹底する。瓶、雑誌、蛍光灯、電池等のあらゆる作業に対しての応用を身につけ順応できるように進める。

・空缶選別同様、ビン選別作業についても、残汁、ゴミの混入、色分けの不完全が見られ都度声掛けを要した。
・管理業務に入った職員の業務（引き継ぎ等）が的確に行えていない事があり、作業の効率化に課題が残る結果となってしまう。

□次年度への方向

・業務の引き継ぎ等に関しては確実に報告できるよう職員間での連携を密にし、充分に配慮して進める。
・作業手順の徹底と構内の把握、安全に対しての意識付けを徹底する。瓶、雑誌類、蛍光灯、電池等のあらゆる作業に対しての応用を身につけ順応できるように次年度へ進めます。
・利用者さんの休暇については一斉の12/31～1/5までとする。基本祝祭日・土日は、休日とします。

平成29年度　生活介護事業　のぞみ事業報告

生活介護事業は就労継続支援Ｂ型事業と連携して進めてきました。
利用者さんの支援については、①作業や創作活動を通じて、物作りの喜びや達成感を得ることが出来るように支援してきました。又併せて体力維持・健康増進のための取り組みを行ってきました。②円滑な活動が可能となるよう、利用者の体力やニーズなどを考慮したグループ分けにより活動の円滑化を図るなど共通認識のもと統一した活動支援を行いました。

次年度の方向性（全体）

・支援内容や事業内容を各事業の連携と効率化を図りながら進めてきましたが職員の人員配置等が適切に行えなかったことで事業全体の達成度も計画どおりに進まなかったことがあり、次年度は、事業所全体として、人員配置を適切に行うと共に利用者一人一人に適した支援に取り組める、体制作りを確実に進めていきます。

・重度利用者さん、高齢利用者さんが多いので、安全に配慮し適切な支援をする体制や環境作りを進めていきます。

・日中活動のみならず、創作活動、健康増進、余暇支援についても充実をさせ、その人にあった生活の質を充実させていきます。

【農産事業】

□事業実積

今年度はトマトハウス２０棟にて１０，０００本を栽培。１３．８ｔの生産となった。今年度についても昨年度と同様に委託事業を展開。特別養護老人ホームの除雪・園庭管理、はれる、リサイクルセンターの除雪、法人内グループホームの除雪作業を行っています。

生産量

○トマト加工分　　１３．８ｔ
○黒豆　　１００kg
○農産販売収入（野菜・花の苗）　９，５００本

◎４月から１０月の作業は、花の苗作り・販売（４～６月）野菜作り・販売（７～１０月）の作業などを行う。１１月より３月までの冬期間は、黒豆の選別作業や除雪作業を行い安全・効率良く作業ができるように取り組みました。

□事業報告

苗販売は、種植えや移植を利用者と職員で、ほぼ予定通りの時期に販売等が出来るように進みました。
冬季間については、黒豆の選別や羊毛のゴミ取りなどの作業と事業所周辺の除雪作業など充実した作業が行えています。

□次年度への方向性

・個人に合わせた支援を充実させ、個別ニーズにも応じた支援を実施、高齢利用者及び重度利用者さんへの生活の質を高める活動を実施します。
・余暇活動や健康増進を取り入れ日中活動の幅を更に広げて行きます。
・個性を生かせる創作活動を展開していきたいと考えています。

【ワタキュー事業】

□事業実積

ベッドパット４，８００枚　ベルジェンヌ４，８００枚

□事業報告

ワタキューから委託された寝具等の折り畳み作業を、のぞみ事業所内作業室にて作業を行う。作業については特に先方からの指摘等もなく、きちんと期日も守り実施できています。

□次年度への方向性

ワタキュー事業についてはクリーニング事業の中で実施していきます。

【ショップ事業】

□事業実積

・旭町ふれあいステーション内にて営業。
・軽食や飲料の提供などを行なう喫茶コーナーでの交流の場や、農産事業で生産された農産物や町内の団体の生産品、農業団体等の季節野菜などの販売、道北各福祉事業所の製品や美深高等養護学校の製品、地域特産品の販売・ＰＲの場として、町民や来訪者を美深の中心市街地へ呼び込むことを目指しました。
・作業日数　２４２日
・作業時間　１日平均　６時間
・１日当たりの作業人員　約２人

□事業報告

・来店されるお客さまへの挨拶や声かけは他の作業に従事していると積極的に行動できない利用者さんも見られたが、その都度声掛けし、元気よく応対できるよう行いました。
・来店されるお客さまが途絶える時間帯には、店内の清掃、商品の在庫確認作業などをしてもらいました。
・作業手順の把握が不十分な様子が見られた場合には、その都度確認を行ない、来店されるお客さまの対応や商品の陳列、整理、在庫確認等が確実に行えるよう声掛けや見守りを行いました。接客時以外での作業には、概ね集中して取り組むことが出来ているが、清掃作業中に来店があった場合に接客作業に切替えることに遅れが見られる場合もありました。

◎実施イベント

・６月１６日　　びふか夜市出店
・７月　７日　　びふか夜市出店
・６月　２日　　かぜる祭りを開催
・９月　２日　　かぜる祭りを開催
・10月１５日　　住民自治福祉大会出店
・２月１６日　　雪灯篭　お休み処

□次年度への方向性

・ショップ『かぜる』の運営については、人員配置及び財政計画上、存続は困難であるとの位置づけとなり、今年度をもって事業を終了することでの結論に達しています。

研修総括

施設長関係

	研　修　名	開催地	開催日	内　　容
1	北・北海道福祉協会定期総会	旭川市	5月12日 ～13日	H28年度の事業報告及びH29年度の役員選任・事業計画・収支予算について
2	全道施設長定時総会・セミナー	札幌市	5月24日 ～25日	①就労支援部会/平成28年度計画、人材育成と魅力ある職場づくりについて
3	水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会	旭川市	5月30日	水害・土砂災害への備えについて（早期の避難、安全確保について）
4	地域・相談支援セミナー	旭川市	7月9日 ～10日	改正障害者総合支援法について、アンガーマネジメントについて、共生型事業について
5	北海道障害者基本計画等タウンミーティング	旭川市	9月24日	第2期北海道障がい者基本計画/改訂版の策定に係る基本的な考え方 第5期障がい福祉計画/策定に係る基本的な考え方
6	労務管理実務講習会	名寄市	9月29日	労務管理の要点「メンタルヘルス、パラハラ対策」「安全配慮義務について」
7	苦情解決システム研修会	札幌市	11月7日 ～8日	苦情に対する理解を深め、事例検討を交えながら
8	経営セミナー	旭川市	11月15日	福祉の現場における業務マニュアルについて（課題、作成方法や留意点）
9	第２回北・北海道福祉協会　施設長会議	旭川市	2月2日 ～3日	平成29年度事業経過報告、各委員からの報告、役員改正について
10	全道施設長会議、臨時総会	札幌市	3月13日 ～15日	行政説明、実態調査報告「障がい者虐待防止・権利擁護のポイント」

支援研関係

	研　修　名	開催地	開催日	内　　容
1	支援研究委員総会	旭川市	5月12日	支援研役員選出、事業計画策定
2	道北福祉協会主催 ソフトボール大会	旭川市	6月17日	派遣
3	道北福祉協会主催 スポーツ交流会	旭川市	9月13日	派遣、引率
4	職員研修会	旭川市	2月21日	派遣
5	支援研究委員特別研修改	剣淵町	3月5日 ～6日	出席

国・道関係

	研　修　名	開催地	開催日	内　　容
1	福祉有償輸送運転者講習会	札幌市	6月9日 ～11日	自家用有償旅客運送自動車を運転するのに必要な認定講習
2	共生型地域福祉拠点推進セミナー	旭川市	6月26日	今後の共生型の取組を検討する事例紹介、道事業の共生型地域福祉拠点の説明
3	北海道サービス管理責任者研修会	札幌市	7月26日 ～28日	サービスや支援の質の確保に必要な知識、技能を有するサービス管理責任者の要請を図る。
4	サービス事業者等集団指導	旭川市	10月18日	障害者総合支援法の法律第11条の規定に基づき指導を行う。

道社協

	研　修　名	開催地	開催日	内　　容
1	施設職員スキルアップ講座	札幌市	7月18日 ～19日	演習を中心としてコミュニケーションについての理解を深める。（新任）
2	施設職員スキルアップ講座	札幌市	8月6日 ～7日	組織活性化、人材育成に関わるマネジメントとコミニュケーションについて講義、演習を通して学ぶ。

道知的障がい者福祉協会・その他

	研　修　名	開催地	開催日	内　　容
1	権利擁護セミナー	札幌市	7月18日 ～19日	行動障害の理解と予防についての講演、心と身体のリスクマネジメントについて
2	全道知的障がい関係職員研究大会	定山渓	9月20日 ～21日	人材育成と実践報告 （　地域支援部会の実践報告（施設入所支援から地域生活支援へ）
3	まちづくりをソーシャルワーク実践から	名寄市	9月30日	ソーシャルワーク実践とまちづくりについて
4	北海道手をつなぐ育成会全道大会	札幌市	9月22日 ～24日	第4分科会/自立生活援助事業について、グループホームの今と課題について討議
5	北海道強度行動障害支援者養成研修	旭川市	10月1日	自閉症スペクトラムの支援の基本について（基礎編）
6	全道ＧＨ等スタッフ研修会	旭川市	10月6日	「暮らしの中での支援を考える～ＧＨを中心に」グループ討議
7	感染症予防講習会	名寄市	10月11日	感染症の基礎知識と施設内の消毒方法、処理、手洗いの方法を実演で学習
8	北海道強度行動障害支援者養成研修	旭川市	10月21日	自閉スペクトラム症の認知世界から行動問題を考える（講演）
9	強度行動障害支援者養成実践研修	旭川市	11月5日 ～6日	基礎研修で学んだ自閉症の特性や行動障害に対する分析の視点、支援の方法について振り返りながら理解を深める
10	新任職員研修会	層雲峡	11月7日 ～8日	社会人の基本マナー、利用者の権利侵害から考える支援のグループワーク
11	加齢化支援研修会	札幌市	11月7日 ～8日	嚥下障害のメカニズムと対応について、加齢期・高齢期の支援について
12	農福連携活動のステップアップセミナー	札幌市	11月9日	農福連携活動の事例紹介
13	権利擁護伝達研修会	芦別市	11月29日 ～30日	利用者の権利擁護の伝達研修
14	旭川知的障がい施設連絡会研修	旭川市	12月4日	福祉現場におけるチーム作りについて
15	幹部職員研修会	札幌市	1月30日 ～31日	報酬改定等要望活動の報告、社会福祉法人制度改革における状況報告
16	職員研修会	旭川市	2月21日	人権擁護、意思決定支援についての概要説明。実践報告

相談支援関係

	研　修　名	開催地	開始日	内　　容
1	上川北部圏域相談支援ネットワーク研修	剣淵町	5月19日	相談支援事業所、行政機関とのネットワーク作りと情報交換
2	上川北部圏域障がい者相談支援ネットワーク会議	名寄市	6月22日	上川総合振興局及び主催機関の活動方針の報告
3	道北圏域障害福祉基礎研修	名寄市	7月19日	福祉と精神医療の歴史と法について
4	精神障害者地域生活支援事業エリア別研修会	旭川市	8月24日 ～25日	地域移行、地域定着を進める人材養成を目的とするとともに他職種連携と情報交換
5	上川北部圏域相談支援ネットワーク研修	名寄市	10月30日	事例検討を行い、相談支援事業所間での情報の共有や報告
6	上川北部圏域第２回障がい者相談支援ネットワーク研修	名寄市	2月23日	ジョブコーチの実践報告、ネットワーク会議のあり方について、地域包括ケアシステムの構築
7	相談支援専門員とサービス管理責任者等の為のスキルアップ研修	旭川市	3月20日	サビ管・相談支援専門員の現任研修、アセスメントを中心としたスキルアップ研修

平成２９年度

事　業　報　告　書

共　　生　　の　　里

共同生活援助事業　共生の里

１．地域生活の支援について

地域の方々とのふれあいの場を通じて、地域の方々には利用者の特性を理解して頂ける様に継続的に努力しています。利用者の皆様は各自治会のふるさと夏祭りを始め、地域イベントへの参加を通じて、年々顔見知りの方も多くなり、地域社会の一員としての活動や交流が出来てきています。平成２９年度も各自治体ごとに担当スタッフを決め各自治体との調整を行っていますが、年々利用者自身が、自治会長をはじめとする地域の方々と直接話し合いを持ち、職員側のパイプ役も良い意味で薄らいできています。また、毎年ＧＨで開催される町内団体の皆様との食事作りの交流会も恒例化になり、大切なふれあいの場となっています。今後も利用者の皆様が地域の人達とふれあう場を提供し、生活の幅を広めながら地域生活を過ごせられるように支援して行きたいと思っています。

２．ホーム生活の支援について

支援の方針としては、自分で出来ること、出来そうな事は自ら行い、支援者が過度の支援にならないよう、まずは体験してみるといった環境を提供しながら支援を行ってきています。そのような中で、休日は自炊にて食生活を体験する利用者、公共交通を利用して遠距離外出する利用者も増えつつあります。また、自分で選択した余暇活動や自主的に休日の生活設計を立て生活する利用者さんも増えてきました。少しずつではありますが、自立生活に対する自覚が芽生えてはじめてきています。平成２９年度は、自動火災報知の設備を拡充し万が一の事態に備えています。また、しらかば寮のユニットバス工事、物置の新設、玄関先の石段の整備を行い、より便利に、安心して生活できるよう住居環境の整備を進めてきました。２９年度はあすなろ寮に緊急時の救命に備えAED器機を設置し、支援員及び世話人については、消防署職員を招いて、AED講習を実施しています。健康管理については多機能のぞみと連携し、美深町が行う各種健康診断の受診の推進と結果に基づく保健指導や通院治療の支援を継続的に行っています。今後も、利用者の重度・高齢化の支援の対応も含め、日中活動事業所との連携を密にして支援にあたりたいと思います。

◎共生の里利用者の年齢構成（2018年３月１日現在）

齢別	１０代	２０代	３０代	４０代	５０代	６０代	７０代	計
男		２人	２人	１８人	８人	５人	２人	３７人
女		１人	４人	１８人	３人	１人		２１人
計	０人	３人	６人	３０人	１１人	６人	２人	５８人

平均年齢　　男　４９．４歳
　　女　４４．８歳　　男女平均４７．７歳

◎共生の里利用者の平均支援区分（2018年３月1日現在）

	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	計
男	１人	３人	１１人	１４人	７人	１人	３７人
女	０人	５人	７人	８人	１人	０人	２１人
計	１人	８人	１８人	２２人	８人	１人	５８人

男　３．７０　　女　３．２３　　合計　３．５３区分

３．ホームの体験利用の状況

平成２９年度は鷹栖高等養護学校の生徒２名体験利用があり、合計１１日の利用がありました。そのうち１名の方は３０年度より入居となりました。今後も受け入れ条件が整った場合には、利用者の地域生活の体験の場として積極的に受け入れ、地域と連携した支援を重要視しながら進めて行きたいと思います。

４．余暇支援について

多機能のぞみの年間行事計画に添った余暇支援のほか、事業所としては個別支援計画に基づいた外出、外食等の計画や引率、同行の支援を行ってきました。名寄外出や、なかよし館でのカラオケ活動といった、余暇支援の計画実施により情緒的に安定し、日頃のホーム生活の状態に結びついています。また、町内カラオケサークル主催のカラオケ大会やあっぱれ隊の支援など個々人の希望を汲み取り継続的に支援しました。今後もご本人の希望を聞き入れた余暇支援の充実を図りたいと考えています。

５．防災の支援について

昨今、高齢者や障がい者のグループホームでの火災発生が大きな社会問題となっています。特に夜間における火災時の対応や連絡体制の強化が求められています。事業所としても夜間の火災発生を想定した訓練の実施と緊急連絡体制の訓練を実施しました。また、災害は火災のみならず、川の決壊や大雨、落雷による自然災害の発生などあらゆる備えが必要となることから、８月には美深町の協力のもと、多機能事業所のぞみ、障害者支援施設はれると合同で、自然災害時の避難について、実際の避難経路に沿って避難訓練を行いました。今後も、災害計画やマニュアルの整備を行い、あらゆる災害に対する備えを今まで以上に整備していこうと思います。また、夜間支援員が常駐していない寮については警備会社による監視体制の中で支援していますが、緊急事態時は普段より地域の方々との協力体制を確保しておくことが何よりも必要であると考えています。昨年度は、全寮に自動火災報知システムや誘導灯の整備を行いました。

６．感染予防について

世話人と支援員においては、寮内の消毒の励行と感染予防マニュアルの確認、管内保健所から発せられる感染情報の伝達や食中毒警報の伝達を各世話人に通知しています。また、世話人を主に保健所で開催される感染予防講習会へ参加し、感染予防の知識向上に努めています。平成２９年度は１２月にインフルエンザA型が蔓延し、１月以降もインフルエンザB型の継続的な発症がみられ、多機能事業所への通所の制限、外出時の注意喚起等を行い、都度対応を行っています。支援者の感染も非常に多く見受けられたことから、予防の更なる強化を進めていかなくてはと思ってます。

７．スタッフの研修について

多機能のぞみと連携し職場外研修や職場内研修において虐待研修を重要視して行ってきました。また、昨今福祉クレームの対応についての重要性も考慮し、顧問弁護士を招いてのクレーム時の対応講習も行っています。その他専門的援助技術習得に伴う各研修会への参加。異動スタッフや新人スタッフには、ＧＨの消防設備取扱い研修として、保守委託会社の点検時に合わせて自動通報装置やスプリンクラーの取扱いの研修も実施しました。また、２９年度よりAEDの機材を導入したことから、消防署職員を講師に招き、支援員、世話人全員を対象としたAED講習を実施しています。今後も業務に必要な知識、技術を習得し専門職としての人材育成に努めて行きます。

平成２９年度

事　業　報　告　書

地域生活支援センターのぞみ

相談支援事業（地域生活支援センターのぞみ）

美深町の指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業の指定と、北海道の指定一般相談支援事業の指定を受け実施しています。

指定特定相談支援事業では、障害者サービス等利用計画を（４４件※町内・外）作成し、継続的（モニタリング１３５件）に支援を行っています。

一般相談業務（基本相談）としては、緊急性・事件性におよぶ等のケースや他市町村までの広域の社会資源調整、困難事例等、相談内容が多岐にわたっています。その他、行政、医療機関や民生員、自治会等、各機関とのケース検討会議、毎月定期開催の美深町地域ケア会議を開催しており、自立支援協議会への派遣、美深町の障害福祉に関する意見・計画等に協力しています。また、障害支援区分の認定調査についても委託を受け実施しています。

障害者相談機関として近隣事業所、各行政機関、医療機関、各高等養護学校、美深育成園（児童）との連携の関係を持ち、広域では上川圏の研修会へ参加、管内の事業所とネットワークを結んでおり、町内の障害者の把握と相談・サービス調整の活動を行っています。

指定特定相談支援計画作成件数内訳　（２９年度）

支援機関	新規計画作成件数	モニタリング件数	合　計	認定調査委託
美 深 町	２０件	３８件	５８件	０件
町　　外	２４件	９７件	１２１件	６件
合　　計	４４件	１３５件	１７９件	６件

一般相談件数内訳

	相　談　方　法				備　　考
	来　所	訪　問	同行その他	合　計	
件数	５件	９７件	２７件	１２９件	サービス会議・研修　２８件

一般相談実績（月別）　　地域生活支援センター相談件数

月	相　談　方　法				備　考
	来　所	訪　問	同行その他	計	
4		5		5	会議×１
5		7		7	会議×２
6	2	4		6	会議×３
7		6	2	8	会議×１
8		4	1	5	会議×１
9	2	4		6	会議×２
10	1	8	4	１３	会議×３
11		7	8	１５	会議×５
12		１８		１８	会議×３
1		１３	3	１６	会議×１
2		7	5	１２	会議×５
3		１４	4	１８	会議×１
計	５件	９７件	２７件	１２９件	２８件

平成２９年度

事　業　報　告　書

は　れ　る

生　活　支　援・入　所　施　設　支　援

１．【日常生活支援】

事故防止対策として、事故報告書、ヒヤリ・ハット報告書の提出の推進を続け、職員の意識の向上に努める。最重点課題として取り組んだ、誤薬の防止については、職員研修会で誤薬の改善内容の報告を行なった。誤薬(服薬吐出し、投薬落とし、飲み忘れ含む)については、昨年度の 17 件から今年度は 10 件に減らすことができたが、怪我は昨年度の２件から今年度は６件に増え、利用者の重度化に伴う事故が増えてきている。怪我のうち２件はてんかん発作に伴うものである。飲食時の軽い咽せはあるが、今年度誤嚥はなかった。

1	誤薬	10 件
2	怪我	6 件
3	誤嚥	0 件
4	無断外出	0 件

強度行動障害支援プログラムでは女性利用者３名と男性利用者７名の利用認定に基づき、個別にプログラムを作成し、特性に配慮した支援を行った。重度化に伴う環境整備として、女子棟４寮のトイレドアを引き戸に改修し、男子棟脱衣室の暖房設備整備、パネルヒーターカバー設置、パニック時の怪我の軽減と予防に努める。
個室化計画の中で、平成 30 年 3 月 31 日現在女性９名と男性９名が個室の利用がされているが、他 16 名が二人部屋を利用されている。

２．【社会生活支援】

名寄外出、町内外食の計画実施内容

名寄外出	実施人数	回数	計
男子棟	１１名	一人１～３回	１５回
女子棟	１１名	一人１～４回	２２回
計	２２名		３７回

※名寄外出の計画実施は通所利用者を含む

町内外食	実施人数	回数	計
男子棟	１７名	一人１～５回	３５回
女子棟	２名	一人４回	８回
計	１９名		４３回

男子棟は外食対応が難しい方の出前利用（２名、５回）を実施する。
障害の特性への配慮と事故防止の為、マンツーマンでの実施は更に増加してきており、外出支援合計 80 回中半数の 51 回がマンツーマン対応となっている。また名寄外出ができない利用者を対象に道の駅あうるへのドライブ外出を２名が２回実施し参加される。町内の行事への参加として、お祭り見学や夜市見学、コンサート鑑賞なども個人に合わせた見学引率の実施を行なった。

オプション帰省送迎利用状況

	北見方面	引率職員	旭川方面	引率職員	名寄方面	引率職員
春季帰省行き	2名	1名	3名	2名	なし	なし
春季帰省帰り	2名	1名	3名	2名	なし	なし
夏季帰省行き	2名	1名	3名	3名	なし	なし
夏季帰省帰り	2名	1名	3名	2名	なし	なし
冬季帰省行き	1名	1名	3名	3名	1名	1名
冬季帰省帰り	2名	1名	3名	2名	1名	1名
計	11名	6名	18名	14名	2名	2名

利用者の重度化と保護者の高齢化に伴う家庭の事情によりオプション送迎日を個別に合わせて実施するケースがでてきている。利用人数によりオプション利用料が高額になる場合もあり、保護者からは使用しにくいとの意見もあるが理解して頂いている。個別ケースに応じて引率職員が必要となっている。

３.【苦情解決】

苦情の受付はなかった。

４.【個別支援計画】

サービス等利用計画に基づき、本人の希望を実現できることを目指し、支援計画の作成を行う。援助目標として、長期計画一か年、短期計画半年で作成し、半年ごとにモニタリングを行った。

サービス担当者会議　１２回開催

５.【各種会議】

職員・支援課会議	１０回開催
男子棟会議	８回開催
女子棟会議	９回開催
主任・看護師会議	１回開催
日中活動・グループ２班会議	１回開催
グループ３・４会議	１回開催
給食会議	１０回開催

平成 29 年度園外活動報告

【地域交流】
地域交流支援として、のぞみカラオケサークルのふれあい広場とカラオケ交流会参加の支援を行なう。また、よさこいチーム『美深あっぱれ隊』は、びふか夜市、ふれあい広場、美深神社例大祭、名寄イオン演舞、美深中学校道徳授業、文化祭、チャリティー発表会、春ほんのりで演舞の披露を行ない、地域行事の活性化に貢献している。

平成 29 年度感染予防報告

【感染予防】
今年度は、ノロウイルス感染により 1 月 24 日から 2 月 9 日の期間通所利用とショート利用を中止し対応を行う。男性利用者 6 名、女性利用者 6 名(通所利用 1 名を含む)と男性職員 2 名、女性職員 2 名、計 14 名が発症となる。保健所への報告をすみやかに行い、施設内の衛生管理の徹底、感染予防管理に努めた。インフルエンザの感染者はいなかった。

課題と次年度への方向性について

入所施設の個室化、重度・高齢化する障害特性への配慮、マンツーマン支援と事故防止に向けた支援を行なうための職員体制の確保を行ない、個人を大切にできる居住環境と支援環境の充実を目指していきたい。
施設での虐待事件報道が無くならない中、施設の閉鎖性、支援関係が虐待の起こりやすい環境であることを認識し、虐待防止研修と OJT サポートの実施、職員の休息、休憩をとれる環境整備に努め、虐待の無い施設つくり、利用者に対しやさしさを持って寄り添う支援を目指していく。

短　期　入　所　支　援

【短期入所】
美深町在住のはれる生活介護利用者 3 名、枝幸町在住 1 名の利用があり、サービス計画に基づいた支援を行なう。1 月 24 日からのノロウイルス発症のため、2 月の短期入所利用は中止を行う。

平成 29 年度　短期入所事業利用者状況

年	平成 29 年									平成 30 年			計
利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
実人数男	2	1	1	1	1	2	2	1	1	1	0	0	13
延人数男	7	2	4	2	8	6	8	4	2	2	0	0	45
実人数女	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	0	1	20
延人数女	44	41	42	44	44	41	45	45	19	8	0	11	384
実人数合計	4	3	3	3	3	4	4	3	3	2	0	1	33
延人数合計	51	43	46	46	52	47	53	49	21	10	0	11	429

平成２９年度施設外医療状況

１.【入院治療状況】(　)内は平成 28 年度の状況
・入院実人数　０人（３人）
・入院延日数　０日（１７日）

利用者さんの高齢化にともない、前年度に比べると、細かな通院が増え、薬を定期で内服する利用者さんも増えてきました。今後、ますます増えるであろう受診、処方など、限られた職員で、どの様に対応していくか、検討が必要になってくると思われます。

２.【通院治療状況】
・通院実人数　１１３名（１１２名）
・通院延人数　４２４名（３４１名）

医療機関別通院状況

医療機関名	科　別	実人数	延人数
美深厚生病院	内科	26	139
美深厚生病院	外科	21	52
名寄市立総合病院	心療内科	23	114
名寄市立総合病院	泌尿器科	0	0
名寄市立総合病院	耳鼻科	0	0
名寄市立総合病院	眼科	4	12
名寄市立総合病院	皮膚科	2	5
名寄市立総合病院	婦人科	2	9
名寄市立総合病院	整形外科	1	1
名寄市立総合病院	循環器内科	1	1
名寄市立総合病院	呼吸器内科	0	0
名寄市立総合病院	消化器内科	1	2
名寄市立総合病院	外科	2	6
名寄市立総合病院	神経内科	0	0
名寄市立総合病院	救急外来	0	0
美深厚生病院	救急外来	8	8
松尾歯科医院	歯科	16	60
旭川道北口腔センター	歯科	2	4
吉田歯科医院	歯科	0	0
名寄市立総合病院	総合内科	1	2
名寄中央病院	整形外科	1	1
吉田病院	耳鼻科	2	8

平成29年度科別　入・通院月別状況

			実人数	延人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	循環器	通院	1	1			1									
		入院	0	0												
	消化器	通院	1	2										1	1	
		入院	0	0												
	呼吸器	通院	0	0		1			1				3			3
		入院	0	0					1							
外　科		通院	2	6		2				2						2
		入院	0	0												
心療内科		通院	23	114	11	17	8	8	6	8	15	8	9	11	6	7
		入院	0	0												
耳鼻科		通院	2	8				2	1	1	3	1				
		入院	0	0												
眼　科		通院	4	12	1	1		1		1	2		3	2		1
		入院	0	0												
歯　科		通院	18	64	11	6	4	5	4	7	4	4	3	4	9	3
		入院	0	0												
皮膚科		通院	2	5		1				1						3
		入院	0	0												
脳神経外科		通院	0	0												
		入院	0	0												
泌尿器科		通院	0	0												
		入院	0	0												
婦人科		通院	2	9	1			1		1	1			2	1	2
		入院	0	0												
整形外科		通院	1	1										1		
		入院	0	0												
救急外来		通院	8	8						1			1	4	1	1
		入院	0	0												
美深厚生内科		通院	26	139	7	8	8	15	8	17	15	2	20	16	13	10
		入院	0	0												
美深厚生外科		通院	21	52	3	5	3	4	3	4	7	4	5	4	5	5
		入院	0	0												
神経内科		通院	0	0												
		入院	0	0												
総合内科		通院	1	2		1		1								
		入院	0	0												

平成29年度　行事総括

行　事　名	実施日	内　　容
春の環境整備	4月25日	入所者6名　通所者4名　職員2名 のぞみ職員及び利用者と共に、グループ2のメンバーで参加。はれる施設周囲とワンダリングコースのごみ拾いを行う。
花見会	5月24日	入所者33名　通所者9名　短期利用者1名　引率職員18名 玄関ポーチ、食堂でコンロ4台で肉類、海産物、野菜などを焼き会食を行う。天候にも恵まれ楽しまれている。
日帰り旅行 苫前温泉 （苫前町）	6月13日	利用者1名　引率職員2名 温泉旅行の希望あるが、一泊での参加は難しいため、日帰りで温泉旅行を行う。温泉は楽しまれたが、移動距離がご本人には長く疲れがみられた。
北・北海道知的 障がい福祉協会ソフトボール大会	6月17日	利用者1名　引率職員兼選手2名 前日連絡あり、雨の為大会は中止となる。
一泊温泉旅行 （旭川・富良野市）	6月28日 ～29日	利用者8名　通所者4名　引率職員8名 1日目富良野マルシェ見学し、富良野市のホテルにて温泉と会食を楽しむ。2日目ひつじの丘にてひつじの見学と食事を楽しむ。ゆっくりとした日程での実施になるよう配慮を行った。
日帰り旅行 さくらんぼ狩 （深川市）	7月19日	利用者12名　通所者4名　保護者1名　引率職員8名 藤田果樹園さんの好意でテントを設置してくれ、さくらんぼ狩と昼食弁当を食べ、重度の利用者さんには恒例の体験型旅行となった。今年は参加希望者の増加あり、バス定員ぎりぎりの実施となった。
北・北海道知的 障がい福祉協会 パークゴルフ大会 （名寄市）	8月1日	利用者1名　通所者1名　引率職員2名 名寄公園パークゴルフ場で開催された、第20回パークゴルフ大会暑い日の開催でしたが、怪我なく楽しまれている。他の施設の方とも交流を図れる機会となった。
災害避難訓練	8月4日 14:00～15:30	利用者33名　通所者3名　職員32名　GH通所者6名AMGH帰寮 避難グループ１～３陣に分け、公用車３台で往復し町民体育館へ避難を行う。避難に伴う物品準備、落ち着かない方への対応、名簿の改善などの実施により課題も見つかる、良い経験となった。
日帰り旅行 野球観戦 （旭川市）	8月30日	昨年野球観戦旅行の費用個人負担額が高かったため、今年度は旭川市で行われる試合に合わせて実施する。 ナイターでの日ハム戦を楽しまれ、22時帰寮する。
第27回スポーツ 交流会 （旭川市）	9月13日	入所者12名　通所者7名　引率職員8名 利用者の重度・高齢化により以前より支援が必要となっており、不穏や嘔吐など対応や通所利用者の参加増により引率者が足りない状況となった。
第28回のぞみ祭	9月16日	前日より、雨の心配晴天時の準備行う。当日晴天のため、屋外でのぞみ祭を開催し、多くの地域の方々、保護者の方々、利用者の方々が、来場され、バザーや模擬店、イベント等を楽しまれた。
クリスマス会	12月20日	入所者32名　通所者1名　職員18名 余興でカラオケ、職員の出し物を行なう。衣装も工夫し楽しめた。バイキングメニューだが、特に混乱もなく楽しまれた。
新年会	1月24日	ノロウイルスあり、通常の食事提供となった。 (メニュー)すきやき、おむすび、フルーツ、ケーキ、ジュース
ご苦労さん会	3月29日	入所者31名　通所者9名　職員１８名 すき焼きは厨房で調理してから出してもらい、待たずに食べることができた。ケーキやフルーツは喜ばれた。

平成29年度研修事業報告

	研修内容	開催地	開催月	日程	交通機関	参加人数
1	H29年度全道施設長セミナー	札幌市	5月	2日間	公用車	1名
2	北・北海道定期総会	旭川市	5月	日帰り	公用車	1名
3	北海道知的障がい関係支援員研修	札幌市	6月	2日間	JR	1名
4	スキルアップ研修(新任)	札幌市	7月	2日間	公用車	1名
5	スキルアップ研修(中堅)	札幌市	8月	2日間	公用車	1名
6	推進セミナー	旭川市	6月	日帰り	公用車	1名
7	北歩～塾	札幌市	年間	5回	JR	1名
8	権利擁護セミナー	札幌市	7月	2日間	公用車	1名
9	音楽療法セッション	名寄市	7月	日帰り	公用車	1名
10	虐待防止研修	札幌市	8月	2日間	公用車	1名
11	全道知的障がい関係職員研究大会	札幌市	9月	2日間	公用車	1名
12	手をつなぐ育成会全国大会　札幌大会	札幌市	9月	3日間	公用車	2名
13	ソーシャルワーク実践フォーラム	名寄市	9月	日帰り	公用車	2名
14	北海道強度行動障害実践研修	旭川市	10月	2日間	公用車	2名
15	フォローアップ研修	旭川市	10月	日帰り	公用車	5名
16	感染症予防講習会	名寄市	10月	日帰り	公用車	1名
17	北海道強度行動障害基礎研修	東川町	10月	2日間	公用車	1名
18	旭川知的障がい施設連絡会	旭川市	11月	日帰り	公用車	1名
19	北海道強度行動障害基礎研修	旭川市	11月	2日間	公用車	2名
20	新任職員研修会	層雲峡	11月	2日間	公用車	2名
21	加齢化支援研修会	札幌市	11月	2日間	JR	1名
22	日中活動支援部会	札幌市	11月	2日間	JR	1名
23	権利擁護伝達研修会	芦別市	11月	2日間	公用車	1名
24	北海道強度行動障害基礎研修	札幌市	2月	3日間	JR	1名
25	施設長会議	旭川市	2月	日帰り	公用車	1名
26	全道施設長研修会	札幌市	3月	2日間	公用車	1名

【園内研修】

平成２９年度　障害者虐待防止研修

開催日　平成29年4月19日　　平成29年11月22日　　平成29年12月13日

日中活動・生活介護支援 事業報告

[活動支援体制]

重度・高齢化に伴い、より個別の特性・状況に応じた支援ができるよう進めて行くと共に、活動環境の整備（構造化）・活動プログラムの提供を行う。
施設内活動のみならず、日中をより充実して過ごしてもらう為、花壇管理や農作物育成及び、遊戯施設の利用も含めた外出支援も実施していく。
個々が活動を通じて社会参加の機会を増やせるよう支援した。

[活動内容]

１．構造化の継続
意欲・集中力が持続する時間の範囲で活動を行い情緒の安定を図る。また、活動環境の構造化、視覚的プログラムの構造化を実施し、不安定行動の軽減を図る。

２．健康管理支援
活動班ごとでワンダリング（歩行運動）を実施し、多くの方が参加され運動を行えている。しかしながら、冬季間についてはワンダリング以外の屋外での運動がなかなか実施できなかった。

３．施設内外の環境整備
施設内では、帰省前の定期的な大掃除は、利用者の情緒不安定を招くことから、1 週間の間に少しずつ行うことにし、随時必要箇所の掃除も行う。施設外では、園舎周辺のごみ拾いや除草などを行い、それぞれが役割を担えるよう支援した。

４．活動①班
活動室の構造化による環境作りを行い、個別プログラムの充実に努めた。不適応行動へのアプローチとしてマッチングカード等のカード学習やペグボード・ボルト組み、オーディオ機器の充実をし、ビデオ鑑賞やテレビ視聴・テレビゲーム・スヌーズレンルームや個室を活用し、個々のニーズに合わせた支援を行った。また、夏期には公共機関を利用しハイキングやトロッコ乗車などの外出や、冬期には昼食会を実施することができた。トロッコ外出については利用者さんの重度化・高齢化に伴い、安全面に配慮した外出に切り替えていく必要がある。強度行動障害対象者には個別支援計画・手順書に基づき個別支援を行った。視覚支援を取り入れ、スケジュール表を用いて構造化し環境に配慮することを継続し行っていく。

５．活動②班
利用者さんに周知されたプログラムを実施。体力作りとして、清掃やラジオ体操、歩行運動か足踏み運動を毎日継続している。年間では、花壇の管理・旭川市へのレク外出・町民体育館や図書館への外出・2 回の調理実習などを行なった。毎日の活動では、個人での活動→集団で行なう運動→個人で楽しむ娯楽の時間の流れで過ごしている。また、通所の利用者さんも在籍しており、支援員への相談や、本人の休息の役割も担うことのできるように支援にあたっている。花壇の管理については、利用者さんの気力・体力に応じて参加をしていただいたが、支援員の負担が大きくなってきている現状もある。

６．活動③班
本人の「やりたいとき、やりたい場所で」をコンセプトに、本人の趣味・嗜好に合わせた活動内容を提供している。また、本人の特性に合わせた活動の内容の実施にも取り組み、本人が取り組みやすい内容の活動内容の提供もしている。そして、個人での作品制作を行ってもらい、班全体としても花の栽培、押し花の作成を行い、文化展への展示及び、のぞみ祭での展示を行なっている。個別プログラムの制作を行ない、あくまでも、それぞれのプログラムに沿って、活動を実施している。その中で選択してもらい、主体性が失われない様に実施している。
活動④班と合同の調理実習、お食事会を行い、他の利用者さんとの交流を深め、喫茶活動も活動④班と合同で行い、喫茶活動を通しても、利用者さんとの交流を深めている。
　通所の利用者さんは、保護者さんの負担軽減に努め、保護者さんの要望に沿い、入浴の介助をしている。
来年度については、レクリエーションと療育室での運動等を充実していく。

７．活動④班
喫茶活動やプランターでの花の栽培・水やりを活動の内容に組み込んでいる。文化展への出展に向けた創作活動及び運動を行っている。個人の趣向に合わせた作品を作成し、作品作りを通しての、利用者さんとの交流、そして個人の趣向に合わせた作品を用意した事で、創作意欲を高めて、創作活動に取り組んでもらっている。なかよし館での昼食会を行うことで、生活空間での活動の軽減を図っている。通所で希望される方については、入浴支援を行なっている。町内や名寄等の外出支援も行なっている。

［課題と次年度への方向性］

利用者の重度化・高齢化が進む中、個々の障害特性に合わせたプログラム及び、活動環境をさらに整備していく必要性がある。又、活動に参加できない利用者の把握及び、活動班の細分化に伴い、職員配置が確保できない現状もあり、個別支援に対応できるよう職員間での連携・活動班の構成・職員配置等、検討していく必要がある。

平成２９年度

事　業　報　告　書

美深町特別養護老人ホーム
美深町老人デイサービスセンター

平　成　２９　年　度　事　業　総　括

美深町特別養護老人ホーム
美深町老人デイサービスセンターふれあい

・地域の高齢者支援の担い手として、入所施設、短期入所生活介護、通所介護事業を展開し、施設開設３１年を経過。

・入所施設においては５０床定員とし、平均介護度４．６を示し、８年前の平均介護度３．９から大きく上昇し、重度・最重度化率９４％へと移行している。近年においては、入院治療の必要性による空床化は避けられなく、運営費への直接影響や、身体・認知機能低下等による食事・排泄・入浴・日常生活等の手厚いケアの必要性のみならず、施設の生活空間の老朽化等、多くの課題を抱えている。
今年度、経年使用していたリフト車、分包機及び正面玄関自動ドア設備更新を実施。

・短期入所生活介護においては１０床の利用定員とし、町内外対象者の日常生活支援や在宅介護者の負担軽減の場と捉えるが対象者の変動や長期利用、他市町村からの利用状況により利用率変動が挙げられる。

・通所介護事業においては、利用定員１５名とし、事業所送迎により在宅対象者の日中支援や在宅介護者の負担軽減の場であるが、登録・利用状況において、利用登録者３６名、利用予定率９３％、利用実績率７７％を示す。

・事業運営において、少子化、介護・看護職離れが深刻化しており、当事業所においても人材確保に苦慮している実情である。

・今年度、当事業所の設置主体者である美深町へ「美深町特別養護老人ホーム　施設整備について（上申)」を提出し、施設整備についての協議の場を設ける。

平 成 ２９年 度 行 事 総 括

（特養）

	社 会 行 事	施 設 内 行 事	実施日	諸 活 動 他	内 容
４月	昭和の日 29日 春の火災予防運動	開所記念日 誕生会	1日 19日		・夕食 赤飯 ・DVD鑑賞・石川県
５月	憲法記念日 3日 みどりの日 4日 こどもの日 5日 母の日 第2日曜日	家族会総会 母の日 誕生会	19日 14日 17日	 園庭清掃 5／14	・家族会9名出席 ・家族会より菓子・（花）のプレゼント ・DVD鑑賞・ 岐阜県メニュー（47都道府県制覇） ・天理教美深連合会ボランティアによる整備
６月	父の日 第3日曜日	 避難訓練 誕生会 父の日 ホームまつり	 21日 8日 19日 24日	家族会役員会 6／14	・ホーム祭打合せ(7名出席) ・第五自治会長来訪し訓練等確認 ・スライドショー・沖縄県メニュー ・家族会より菓子・（花）のプレゼント 30家族来訪、第一自治会来訪
７月	ふれあい広場（社協）8日 海の日 第3月曜日 食中毒予防月間	 誕生会 特養運動会	 12日 19日	 食中毒予防	 ・美深混成合唱団来訪・福井県メニュー
８月	七夕 お盆	 誕生会 自然災害避難訓練	 23日 30日		DVD鑑賞.・山形県メニュー
９月	防災の日 秋の交通安全週間 敬老の日 第3月曜日 秋分の日 23日	特養秋祭り 敬老会 誕生会	3日 8日 13日	祭神輿、一粋会来訪9/3	 28家族来訪、津軽エイト来訪 DVD鑑賞.・愛知県メニュー 美中社会福祉学習来訪（3学年39名）
１０月	体育の日 第2月曜日	誕生会	18日	口腔ケア嚥下体操10/4	・DVD鑑賞・群馬県メニュー
１１月	文化の日 3日 勤労感謝の日 23日	避難訓練 誕生会 講話会（弘法寺）	1日 15日 29日	 家族会役員会 11／9 インフルエンザ予防接種(11/8・15) 	・夜間想定訓練（自治会等立会） ・大忘年会等打合せ(6名出席) クラブ班.（合唱提供）・山梨県メニュー
１２月	天皇誕生日 23日 クリスマス 25日 大晦日	大忘年会 誕生会	9日 13日		・27家族来訪、餅つき、ゲーム等 ・DVD鑑賞・宮城県
１月	元旦 成人の日 第2月曜日	新年交流会 誕生会	1日 17日		1／1 ホールにてレクリェーション対応 ・クラブ班[読み聞かせ）・長崎県
２月	節分 3日 建国記念の日 11日	講話会（大善寺） 誕生会	21日 21日		・DVD鑑賞・北海道
３月	春分の日 20日	誕生会 追悼法要(開原寺) 非常招集訓練	14日 29日 30日		・DVD鑑賞・大分県 ・今年度逝去された方の法要を行う

特 養 老 人 ホ ー ム

（30年3月末）

1．入 所 状 況

（1） 入所状況及び要介護認定状況　　平均介護度 4.6

		要介護区分					男女別計	計
		1	2	3	4	5		
美深町	男	0	0	1	2	6	9	38
	女	0	0	2	10	17	29	
名寄市	男	0	0	0	1	3	4	11
	女	0	0	0	4	3	7	
音威子府村	男	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	1	1	
	男						0	0
	女						0	
計	男		0	1	3	9	13	50
	女		0	2	14	21	37	
計（介護区分別）		0	0	3	17	30		

（2） 平均年齢

男　　性　　８５．９　歳
女　　性　　８９．８　歳
平均年齢　　８８．７　歳
平均在籍　　３．５　年

（3） 月別入退所状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入　所	1	2	1	1	0	1	1	2	1	1	4	0	15
退　所	2	2	1	0	1	1	1	3	1	3	0	0	15

（4） 退所事由

搬送・入院先等での死亡による退所	8名
長期入院による退所	7名
他サービス移行等による退所	0名

（5） 入院者数

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
入院者状況	実人員	13	9	4	8	10	6	5	6	5	6	4	7	83	6.9
	延日数	190	133	47	84	167	74	113	73	53	98	74	95	1201	100.1
入院者症状	内科～発熱・肺炎・尿路感染・褥瘡等														

（6）施設入所要介護度別利用状況

区分 / 月	稼動人員	稼動率	要介護					実人員計
			1	2	3	4	5	
4	1300(1500)	86.6	0	0	1	18	32	51
5	1419(1550)	91.1	0	0	2	17	33	52
6	1422(1500)	94.9	0	0	3	17	30	50
7	1467(1550)	94.6	0	0	3	17	30	50
8	1385(1550)	89.3	0	0	2	18	30	50
9	1398(1500)	93.2	0	0	0	18	32	50
10	1419(1550)	91.5	0	0	0	18	32	50
11	1400(1500)	93.3	0	0	1	18	32	51
12	1437(1550)	92.7	0	0	1	18	30	49
1	1360(1550)	87.7	0	0	1	18	30	49
2	1266(1400)	90.4	0	0	3	17	30	50
3	1459(1550)	94.1	0	0	3	17	30	50
計		91.6	0	0	20	211	371	602

（7） 短期入所生活介護月別利用状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護保険	実人員	10	14	13	11	9	7	10	11	10	10	12	10	127
	延日数	130	115	119	115	81	103	91	106	111	105	136	150	1,362
その他（町事業他）	（対象者）	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	7
	延日数	1	0	1	0	0	0	0	1	4	4	1	4	16
計	実人員	10	14	13	11	9	7	10	11	10	10	12	10	127
	延日数	131	115	120	115	81	103	91	107	115	109	137	154	1,378
他保険者	実人員	3	4	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	19

（8） 短期入所生活介護要介護度別利用状況　　（平均介護度2.3）

区分／月	稼働率	要支援1・2	要介護					実人員計
			1	2	3	4	5	
4	43.7%	0	3	2	4	1	0	10
5	37.1%	0	3	3	5	2	1	14
6	40.0%	1	2	5	3	2	0	13
7	37.1%	1	2	3	4	1	0	11
8	26.1%	0	2	3	2	2	0	9
9	34.3%	0	3	1	2	1	0	7
10	29.4%	0	3	3	2	2	0	10
11	35.7%	0	5	2	3	1	0	11
12	37.1%	0	4	2	3	1	0	10
1	35.2%	0	3	3	4	0	0	10
2	48.9%	0	5	4	3	0	0	12
3	49.7%	0	3	4	3	0	0	10
計	37.9%	2	38	35	38	13	1	127

（9）苦情等受付及び解決状況

・苦情,要望　　0件

・意見箱　　0件

（10） 地域交流状況

事業所区域に該当する第五自治会との接点を持ち、事業所避難訓練時における現状確認及び今後の展開を模索する為、自治会との協議を継続し次年度へ繋げる。

（11） 施設の管理化におけるヒヤリハット・事故事例件数

事例　94件　　受診・通院事例　7件　　入院事例　1件

（12） 研修実績

開催日	研修者	研　　修　　名	開催地	主催
4月	2名	認定調査員新規研修	名寄市	上総振局
5月	1名	道北老協定期総会	旭川市	道北老協
5月	18名	おむつ交換研修会	事業所内	事業所内(外部講師)
5月	2名	生活相談員・栄養士部会合同研修会	剣淵町	上北老施
5月	1名	水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会	旭川市	北海道開発局
6月	利用者	口腔ケア講習会	事業所内	事業所内(外部講師)
6月	1名	事例から学ぶ管理者の事故対応セミナー	旭川市	あいおいニッセイ
7月	1名	新任介護職員研修	旭川市	道社協
7月	1名	介護支援専門員更新研修	旭川市	道社協
7・8月	1名	介護職員等のたんの吸引等研修（4回）	旭川市	道社協
8月	1名	介護職員等のたんの吸引等研修・実地指導者研修	旭川市	道社協
8月	1名	メンタルヘルス研修	札幌市	道社協
8月	1名	看護師専門研修	札幌市	道社協
8月	1名	雇用管理改善セミナー	旭川市	介護労働安全センター
8月	1名	高齢者虐待防止推進研修会	札幌市	道社協
9月	2名	高齢者の口腔ケアセミナー	名寄市	上総振局
9月	1名	道北地区栄養士・調理員研修会	東川町	道北老協
10月	利用者	口腔ケア講習会	事業所内	事業所内(外部講師)
10月	1名	介護職員研修会	羽幌町	道北老協
10月	1名	介護職員専門研修Ⅰ	旭川市	道社協
10月	1名	介護員初任者研修会	名寄市	道北老協
10月	1名	平成29年度感染症予防講習会	名寄市	名寄保健所
10月	1名	施設相談員専門研修	札幌市	道社協
10月	23名	介護福祉用具講習会	事業所内	事業所内(外部講師)
11月	1名	介護職員専門研修Ⅱ	旭川市	道社協
11月	1名	エルダ―・メンター制度導入支援研修	札幌市	道社協
11月	1名	栄養士専門研修	札幌市	道社協
11月	34名	感染予防講習会	事業所内	事業所内
12月	1名	リスクマネジメント研修	札幌市	道社協
12月	2名	生活相談員・栄養士部会合同研修会	士別市	上北老施
12月	1名	アンガ―マネジメント研修	札幌市	道社協
12月	1名	道北老協臨時総会・施設長研修会	旭川市	道北老協
12月	2名	平成29年度認定調査員現任研修	名寄市	上総振局
1月	1名	道老施協老人福祉施設長研究セミナー	札幌市	道老協
2月	20名	認知症講習会	事業所内	事業所内
3月	利用者	口腔ケア講習会	事業所内	事業所内(外部講師)
3月	33 名	高齢者虐待及び身体拘束に関する研究班研修会	事業所内	事業所内
3月	1名	介護報酬改定経営戦略セミナー	札幌市	道老協

平 成 ２９年 度 行 事 総 括

（デイサービス）

	行事内容	各種測定	総 括
4月	茶会～ロールケーキ 主なレク～体力維持の運動	身長測定 初回利用時のみ	機能低下防止の為に全身を動かすレクを心掛けました。
5月	茶会～イチゴミルクアイス 主なレク～体力維持の運動 行事～桜見学（望みの森） 目的～屋外活動で気分転換を図り日常生活の継続支援のお手伝い(送迎車輌使用)	体重測定 月1回 バイタルチェック (血圧･脈･体温) 利用毎	5/9～12の4日間にわたり桜見学実施。 開花・天候も良く、皆さんから素晴らしい桜が見れてとても良かった、また来年も行きたいとの言葉聞かれました。
6月	茶会～小倉どら焼き・緑茶 主なレク～体力維持の運動他 行事～屋外昼食会（ジンギスカン等）	〃	屋外昼食会6/27(月)～7/1(金)昼食時間帯に38名が参加。天候も良く 、大勢で食べるジンギスカンは美味しいと大好評でした。
7月	茶会～アイス 主なレク～脳トレ・体力維持の運動他	〃	脳の機能の低下を防ぎ、若々しさを保って頂けるよう取り組みました。
8月	茶会～アイス・カルピス 主なレク～体力維持の運動他	〃	機能維持・気分転換を図るために天候の良い日には施設周辺を散策を実施しました。
9月	茶会～紅白饅頭 主なレク～体力維持の運動 行事～バスハイキング(道の駅びふか)		バスハイキングでは昨年1ヶ月遅れという事もあり、気温も低く、ゆっくりして頂くことも出来ませんでしたが、今年は気温も暖かかったため満喫されていました。
10月	茶会～おけさ柿 主なレク～体力維持の運動	〃	身体機能訓練の内容も随時、ご利用者さんの様子を見ながら楽しく取り組めるよう実施しました。
11月	茶会～とろけるゼリー 主なレク～体力維持の運動他 交流～美深小学校5年生との交流	〃	5年生（22名）と利用者さん10名での交流。ダンス・音楽を披露してくれ、中には曾孫さんを思い出しながら鑑賞されている方もおり、今後も地域交流を含め継続したいと考えております。
12月	茶会～ショートケーキ 主なレク～体力維持の運動・浪曲スライド 行事～屋内昼食会（鍋）	〃	今年も具材の色とりどりを考慮し内容を変更。しめにチーズ入りおじや・チーズなしおじやを全員が摂取され大好評でした。
1月	茶会～おしるこ 主なレク～季節を満喫「お正月遊び」	〃	おしるこは誤嚥の心配もあり、もちのサイズ等を工夫して提供しました 。お風呂上りのおしるこは更に身体が温まって良いと好評でした。
2月	茶会～でんぷん団子・昆布茶・紅茶・緑茶 主なレク～体力維持の運動	〃	昨年同様、でんぷん団子を利用者さんと一緒に楽しみながら作りました。
3月	茶会～桜・うぐいす餅・漬物 主なレク～体力維持の運動 行事～屋内昼食会（ジンギスカン）	〃	屋内昼食会3/5（月）～9(金）毎年恒例のジンギスカンを楽しみました。

平成29年度　　**デイサービスセンターふれあい利用実績**

1．年間利用実績　　（稼働率77.3%）

開設日数　　243　日　　定員　　15　名　　前年度稼働率 80.8%）

実利用人員（年度末月参考数値）

介護度・障害区分	実人員	介護度・障害区分	実人員
自　　立	6　名	要介護1	8　名
障　　害	0　名	要介護2	6　名
要支援1	5　名	要介護3	3　名
要支援2	6　名	要介護4	1　名
		要介護5	1　名
		合　　計	36　名

（前年度44名）

年間利用状況

期　　間	延べ利用者数	開設日数	平均利用
4～9月	1,518	124	12.2
10～3月	1,297	119	10.9
計	2,815	243	11.6
年間利用稼働率　77．3%			

2．利用登録サービス提供状況（年度末月参考数値）

曜　　日	予　　定　　者	利　用　平　均	稼　働　率
月	14　人	11　人	73%
火	12　人	9　人	60%
水	14　人	11　人	73%
木	11　人	10　人	67%
金	14　人	11　人	73%
計	65　人	52　人	
平　　均	13	10	69%
登録・利用状況	予定/定員　86%	実績/予定　80%	実績/定員　69%

97　　86　　87

地　区　名	登録者数	地　区　名	登録者数	地　区　名	登録者数
第１自治会	6	東　自　治　会	2	玉川自治会	0
第２自治会	2	仁宇布自治会	0	西紋自治会	0
第３自治会	4	敷島自治会	5	恩根内自治会	0
第４自治会	2	富岡自治会	1		
第５自治会	5	吉野自治会	1		
新生自治会	5	斑渓自治会	0	（独居者）	0(再掲)
南自治会	2	川西自治会	1	合　　計	36

（独居8名）　　年度末　　（前年度44名）

3．研修実績

開催日	研修者	研　修　名	開催地	主　催
5月	1名	生活相談員部会研修会	剣淵町	上北老施
8月	1名	メンタルヘルス講習会	旭川市	道民社共
9月	1名	高齢者虐待防止推進研修会	札幌市	道社協
10月	1名	介護予防従事者研修会	名寄市	名寄保健所
10月	1名	感染予防講習会	名寄市	名寄保健所
11月	1名	通所ケアマネジメント研修(基礎編)	札幌市	道デイ協
12月	1名	生活相談員部会研修会	士別市	上北老協

4．利用者別比率

自対・障害該当者利用比率	7.4%	前年度1.7%
要支援該当者利用比率	24.4%	前年度29.3%
要介護該当者利用比率	68.2%	前年度69.0%

5．苦情受付・相談箱等処理状況

1件

6．ヒヤリハット・事故事例

4件　　2件

平成29年度　　月 別 利 用 実 績　　（平均介護度1.2）

	開設日数	区 分	事業対象者	障害	支援1	支援2	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	計
4月	20	実人員	1	0	10	8	8	8	5	3	0	43
		延利用	4	0	38	44	42	66	32	14	0	240
		延利用平均	0.2	0.0	1.9	2.2	2.1	3.3	1.6	0.7	0.0	12.0
5月	20	実人員	1	0	11	8	11	8	5	1	1	46
		延利用	3	0	35	44	46	64	38	5	8	243
		延利用平均	0.2	0.0	1.8	2.2	2.3	3.2	1.9	0.3	0.4	12.2
6月	22	実人員	1	0	11	6	12	8	5	1	1	45
		延利用	5	0	42	38	72	73	44	6	8	288
		延利用平均	0.2	0.0	1.9	1.7	3.3	3.3	2.0	0.3	0.4	13.1
7月	20	実人員	2	0	11	5	14	7	5	1	1	46
		延利用	12	0	36	23	76	54	33	4	8	246
		延利用平均	0.6	0.0	1.8	1.2	3.8	2.7	1.7	0.2	0.4	12.3
8月	22	実人員	4	0	10	5	16	8	4	1	1	49
		延利用	21	0	28	23	83	57	33	7	9	261
		延利用平均	1.0	0.0	1.3	1.1	3.8	2.6	1.5	0.3	0.4	11.9
9月	20	実人員	4	0	6	5	15	8	3	2	1	44
		延利用	21	0	24	26	75	53	21	13	7	240
		延利用平均	1.1	0.0	1.2	1.3	3.8	2.7	1.1	0.7	0.4	12.0
10月	21	実人員	5	0	6	4	16	8	2	2	1	44
		延利用	23	0	18	27	86	50	24	17	8	253
		延利用平均	1.1	0.0	0.9	1.3	4.1	2.4	1.1	0.8	0.4	12.1
11月	20	実人員	5	0	5	5	14	7	2	2	1	41
		延利用	22	0	19	25	64	43	22	14	9	218
		延利用平均	1.1	0.0	1.0	1.3	3.2	2.2	1.1	0.7	0.5	10.9
12月	21	実人員	5	0	4	5	12	7	2	2	1	38
		延利用	22	0	14	35	54	43	26	14	8	216
営業休止1日		延利用平均	1.1	0.0	0.7	1.7	2.6	2.1	1.2	0.7	0.4	10.3
1月	17	実人員	5	0	4	5	11	8	2	2	1	38
		延利用	20	0	11	30	47	36	19	13	7	183
		延利用平均	1.2	0.0	0.7	1.8	2.8	2.1	1.1	0.8	0.4	10.8
2月	19	実人員	6	0	4	6	4	6	11	8	3	48
		延利用	26	0	14	36	50	40	30	7	7	210
		延利用平均	1.4	0.0	0.7	1.9	2.6	2.1	1.6	0.4	0.4	11.1
3月	21	実人員	6	0	5	6	8	6	3	1	1	36
		延利用	29	0	20	37	46	42	28	9	6	217
営業休止1日		延利用平均	1.4	0.0	1.0	1.8	2.2	2.0	1.3	0.4	0.3	10.3
合計	243	実人員計	45	0	87	68	141	89	49	26	13	518
		実人員平均	4	0	7	6	12	7	4	2	2	43
		延利用計	208	0	299	388	741	621	350	123	85	2815
	延利用平均/(月)		26	0	37	49	93	78	44	15	11	235
要介護比率	延利用平均/(日)		0.9	0.0	1.2	1.6	3.1	2.6	1.4	0.5	0.4	11.6
0.0%		利用比率	7%	0%	11%	14%	26%	22%	12%	4%	3%	